

中間検査チェックシート B表(基礎工程)

※工事監理者は、太枠内のみ記入すること

検 査 項 目		照 合 内 容		工 事 監 理 者	検 査 記 録		
					A : 目視検査 B : 実測検査 C : 監理者報告	結果	修正
1	基礎概要	ア	種別の確認(独立、連続、ベタ、杭、地盤改良等)		A : B : C	適・否	
		イ	支持地盤の確認		A : B : C	適・否	
2	使用材料	ア	鋼材の種類		A : B : C	適・否	
		イ	コンクリートの種類、配合		A : B : C	適・否	
3※	基礎構造体の確認	ア	形状・寸法		A : B : C	適・否	
		イ	鉄筋の径、本数、配置等		A : B : C	適・否	
		ウ	継手の位置、定着長さ、補強筋の緊結(フック)等		A : B : C	適・否	
		エ	かぶり厚		A : B : C	適・否	
		オ	耐圧版の厚さ		A : B : C	適・否	
4※	基礎構造体の確認	ア	全体形状および部材配置	建築物の平面形状		A : B : C	適・否
				柱、地中梁等の配置		A : B : C	適・否
		イ	ベース	部材の形状・寸法		A : B : C	適・否
				主筋の径、本数、配置		A : B : C	適・否
				かぶり厚さ		A : B : C	適・否
		ウ	耐圧版	主筋および配力筋の径、配置等		A : B : C	適・否
				耐圧版の厚さ		A : B : C	適・否
				かぶり厚		A : B : C	適・否
		エ	柱	部材の形状、寸法		A : B : C	適・否
				主筋の径、本数、配置		A : B : C	適・否
				継手位置、定着長さ、フック		A : B : C	適・否
				帯筋の径、配置等		A : B : C	適・否
				かぶり厚		A : B : C	適・否
		オ	地中梁	部材の形状、寸法		A : B : C	適・否
				主筋の径、本数、配置		A : B : C	適・否
				中吊り筋(2段筋)の位置		A : B : C	適・否
				継手位置、定着長さ、フック		A : B : C	適・否
				あばら筋および幅止め筋の径、配置等		A : B : C	適・否
				貫通孔の補強筋		A : B : C	適・否
				かぶり厚		A : B : C	適・否
		カ	圧接継手	継手の位置		A : B : C	適・否
				圧接部の外観、ふくらみ		A : B : C	適・否
		キ	型枠	各部分の寸法		A : B : C	適・否
				せき板、支保工等の設置状況		A : B : C	適・否
				型枠内の清掃、異物の除去		A : B : C	適・否
		ク	その他	差し筋の設置状況		A : B : C	適・否
						A : B : C	適・否
						A : B : C	適・否
5	杭基礎	ア	杭芯位置の確認			A : B : C	適・否
		イ	杭の種別、径、長さ、本数等			A : B : C	適・否

		ウ	継手の溶接状況		A : B : C	適・否	
		エ	杭頭のレベル、偏芯等の確認		A : B : C	適・否	
		オ	杭周充填液等の配合、強度試験		A : B : C	適・否	
		カ	場所打ち杭の掘削孔径、深さ等		A : B : C	適・否	
		キ	場所打ち杭のかご鉄筋の仕様		A : B : C	適・否	
		ク	場所打ち杭のコンクリートの配合、強度等		A : B : C	適・否	
		ケ	支持層到達の確認		A : B : C	適・否	
		コ	杭芯ずれによる補強筋の追加		A : B : C	適・否	
6	地盤改良工事	ア	施工範囲、改良厚等		A : B : C	適・否	
		イ	改良剤の添加量		A : B : C	適・否	
		ウ	埋戻し、転圧状況		A : B : C	適・否	
		エ	改良地盤耐力の確認		A : B : C	適・否	
		オ	柱状改良の位置の確認		A : B : C	適・否	
7	地業工事等	ア	栗石、砕石等の敷き均し・転圧		A : B : C	適・否	
		イ	埋戻し土の転圧		A : B : C	適・否	
8	その他	ア			A : B : C	適・否	
		イ			A : B : C	適・否	
		ウ			A : B : C	適・否	
		エ			A : B : C	適・否	
		オ			A : B : C	適・否	
		カ			A : B : C	適・否	
		キ			A : B : C	適・否	
		ク			A : B : C	適・否	
※ 工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。 なお、否となった事項については、それに対する措置等を下記に記入すること。							
工事監理者への 指摘事項	中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名(検査立会者)		

※ 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造およびプレキャスト鉄筋コンクリート造の建築物については、基礎構造体の確認欄は4に記入することとし、3は記入不要とする。
 補強コンクリートブロック造および組積造については、基礎構造体の確認欄は3に記入することとするが、必要に応じて4欄の該当項目についても記入すること。